

# 創立50周年を迎えました

## Lis Blanc

(リス・ブラン)——フランス語で「百合」

### No. 70 学報リス・ブラン(百合)

発行/仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号  
TEL 022-372-3254 URL <http://sendai-shirayuri.ac.jp>  
編集/大学広報室

2016.5.16  
(転用・転載を禁じます)

#### 本号の主な内容

- 01 巻頭言
- 02 学位記授与式・入学式
- 03 ウェルカムフェスティバル
- 04・05 百合生の素顔・学修支援センターより
- 06・07 創立50周年記念
- 08 留学生紹介
- 09 ユニークな研究紹介・宇野忍先生最終講義
- 10 お知らせ
- 11 百合グッズ紹介・インカレ通信・人事
- 12 オープンキャンパス公開講座の予定  
編集後記



学校法人 白百合学園  
理事 和田 美稚子

先日、修道院から、校舎に向かっ  
て坂を下りて来た時、小さなリスが左側の茂みから顔を出  
しました。ちょっと立ち止まって、  
横目で私の方を見ながら、ちょ  
こちょこと道を横切ってきたの  
で、そーっと近づいてみると、リ

「継続は力なり」との言葉ど  
おり、五十年の間、ここ仙台白  
百合短期大学・女子大学に席  
を置いた学生はしっかりと絆を  
繋いできたのです。今五十年前  
の記録をみると、よくも一年生  
百三十五名だけで大勢のお客様  
をお迎えして大学祭ができたも  
のだと感心しています。

あれから五十年の歳月が流れ  
ました。  
二〇一五年十月に行われた白  
百合祭のパンフレットのあちこち  
に「第五十回」とあります。そ  
うです。一九六六年四月に開学  
した仙台白百合短期大学政科  
一回生が手書きのパンフレット  
を作成し、一年生百三十五名だ  
けで大胆にも大学祭を企画し実  
行に移しました。そしてその後、  
毎年在学した学生達が忠実にそ  
れを繋いできたから、五十回に  
なったのです。

一九六六(昭和四十二)年三  
月三十一日、辺り一面田圃と畑。  
まだパイパスも地下鉄も無い時  
代にここ七北田の地に仙台白百  
合短期大学の建物が出来ました。  
夜、校舎の屋上から眺めると、  
遠くにポツンと農家の灯が見え  
るのみ、音と言えば、変電所か  
らの鈍い音だけの「山の中の一軒  
家」でした。

スも一緒に走って走り、しばらく  
追いかけてこきました。リスは  
やがて反対側の茂みに入ってい  
きました。本当にのどかな光  
景でした。少し怖がる様子も  
なく「どこに住んでいるの?」と  
聞きたいくらい、まだこのキャン  
パスには自然が息づいています  
ね。

鶯の声が聞こえる朝ももうす  
ぐです。五十年前、「葦」とい  
う仙台白百合短期大学発刊の雑  
誌があったのですが、その創刊  
号に当時国文学の先生でいらっ  
しゃった故小倉巖教授が「松森  
だより」の中で次のように書か  
れていたのを思い出しました。  
「……いつであつたらうか、教授会  
の最中にカッコウの声が思いが  
けぬ時に聞こえてきた。「ここに  
学校があつてよかったね」と仰つ  
た先生の一言に、論判は一時断た  
れてニッコリしたものだ。  
カッコウの一声ひびき教授会  
聞きすましたり論議とどめて」  
(「葦」創刊号二十九頁)

学生の皆さん、この美しい自  
然に囲まれた泉のキャンパスに  
は、貴重な宝物が潜んでいます。  
教職員の一人一人を大切にす  
る援助と協力、生涯続くような友  
人との出会いと、心からの交流、  
静かな雰囲気の中で祈る体験な  
ど日々の学生生活が、実り豊か  
なものとなりますように、卒業  
までの四年間を大切に過ごして  
頂きたいと心から期待しており  
ます。



## 白百合ウェルカムフェスティバル

今年度もウェルカムフェスティバルを無事に終えることができました。皆様のご支援に感謝申し上げます。午前中は横石学部長の司会のもと、4学科長に各学科の魅力を語っていただきました。会場に笑いが起こり、和やかな雰囲気が醸し出されたかと思えます。懇話会の後は学生部の企画、午後からは各学科に別れての企画でしたが、いずれの学科でも同級生やスタッフの先輩達と顔見知りになる機会が提供され、授業開始に先立ち交友関係のきっかけがつかめる良い機会になったのではないかと考えられます。

前年度委員長の森本先生、前々年度委員長の遊佐先生には具体的な書類の作成方法の手ほどきをいただきました。お弁当は氏家幸子先生にお力添えをいただきました。学生課泉田課長からは全体の進め方について様々な点でお世話になりました。ここにお名前を挙げられず申し訳ありませんが、ご協力下さった先生方、学生スタッフの皆様には深く御礼申し上げます。

(妹尾知昭)

### 学科企画



#### 心理福祉学科企画

学生サポーター達がきめ細かな心配りをしながら、準備や当日の運営をしてくれたおかげで、今年度のウェルカムフェスティバルも大変好評でした。学生サポーター達の頑張りに本当に頭が下がる思いでありました。1年生は笑顔に溢れ、先輩達との交流を図ることで、希望に満ちた大学生活をスタートすることができたように思います。心理福祉学科のウェルカムフェスティバルの成功にご協力くださいましたすべての皆様に感謝いたします。(志水田鶴子)



#### 人間発達学科企画

ステラマリス(食堂)で昼食をともにしながら始まった第2部では、先輩からの声掛けや細やかな心遣いに、それまでの緊張が和らいだ新入生の様子が印象的でした。お腹を満たしたあとは体育館へ。「じゃんけん列車」や「猛獣狩り」、チーム対抗リレーなど、先輩スタッフがこれまでの実習経験を生かして準備したゲームの数々で、新入生の絆もぐっと深まったようです。美しいキャンパスでの新たな出会いを大切に、有意義な大学生活を！(上岡紀美)



#### 健康栄養学科企画

ウェルカムフェスティバルは、決して新入生のためだけのものではないと思いました。今年のピアサポーターは総勢18名、4年生を中心に随分前から全て自分達で計画し、パンフレットも作成していました。新入生をアツという間に打ち解けさせた企画の妙味には脱帽でした。新入生はもとより歓迎する側にも色々な刺激があったようです。この「お・も・て・な・し」の精神は、今年の新入生にもしっかりと引き継がれていくことと思います。(大久保剛)



#### グローバル・スタディーズ学科企画

GS学科の企画は、今後の大学生活を送る上で役立つ情報提供のための発表と、学生同士の交流という2つの柱で進められました。前半の企画は、各スタディーコースの紹介、ANAプログラムの報告、異文化体験報告、留学報告(カナダ、アメリカ、台湾)という流れで、学生スタッフが自ら作成したパワーポイントや映像を用いた発表を行いました。新入生は上級生の創意工夫あふれる堂々とした発表に良い刺激を受けた様子でした。後半は、学生同士の交流を目的に、親睦を深めるためのゲームで盛り上がりました。準備のために春休み返上で頑張ってくれた学生スタッフに感謝いたします。(山田恵)



## 2015年度 第17回学位記授与式

2016年3月18日(金)、本学講堂にて、2015年度学位記授与式が挙行されました。

壇上に、カトリック仙台教区司教総代理・小野寺洋一神父様、同窓会長・渡邊博子様、白百合学園理事長・Sr.式井久美子先生(シャルトル聖パウロ修道女会)をお迎えし、お祝辞を頂戴いたしました。

アカデミック・ガウンを身にまとい、名前を呼ばれて起立したその姿は、保護者の皆様はさることながら、本学教職員たちにとっても感動するものでした。本学で学び、社会に使命をもって巣立って行く白百合生たち一人ひとりの前途に神さまの祝福がありますように。



## 2016年度 入学式

2016年4月2日(土)、地下鉄泉中央駅そばのイズミティ21大ホールにて、入学式が挙行されました。式では、仙台教区平賀徹夫司教様より講話を頂きました。

仙台白百合女子大学に入学された新入生の皆様は、ふくらむ希望を胸に一人ひとりの白百合の花を咲かせていくことでしょう。



## 人間発達学科



**心理福祉学科4年 渋谷 生帆**  
 私は、社会福祉士と精神保健福祉士の資格取得を目指しています。高校生の時は、漠然と困っている人の役に立ちたいと考えていました。しかし、大学に入り、いざ勉強をしてみると、曖昧な気持ちではできないと痛感しました。講義はもちろんですが、一年生から四年生まで実習が組まれています。頭で考えるだけでなく実際に障害を持っていての方とお会いし、話を聞いてみると一人として同じ状況にはないことがわかります。大学の授業は、これからの私にとって貴重な財産だと実感しています。

**人間発達学科3年 小川 朱音**

保育内容（音楽とリズム）の授業の一環として、音楽劇を行いました。私の班は「こびとくつや」を演じました。八名の仲間と共に、台本作りから照明、小物作り、BGMの演奏等々それぞれ役割を決め、短い時間で最大限に頑張りました。何度も打合せをし、いかに見ている側に楽しんでもらえるか、子どもにとって理解しやすいかなど話し合いました。本番はもちろん、準備期間でさえ、仲間たちと過ごす時間はとても楽しかったです。



## 心理福祉学科

### 学修支援センターより

前センター長 宇野 忍

学修支援センターでは、教員・専任職員・カウンセラー・学生ピアサポーター・学生が集い、楽しいこと・困ったり悩んだりしたことを気軽に話して、お互いの情報交換をしています。学習室1では、先生方のバックアップする自主ゼミ、ワールド・クッキング、英語勉強会、ふしぎ探険隊などのセンター企画、ラジオ体操・女子会などのサポーター企画が行われています。これらの企画に参加するとポイント制です。学修室2にはパソコンとプリンターがあり、レポートを作成・印刷することができ、便利です。DKルームでランチをする学生も増えてきました。

大学では自分の時間を自分で作ります。センターでは4月と9月に履修相談を行ってアドバイザーをしています。「ワールド・クッキング」は料理を通して外国語を話そうという試みで、英語で作る方を学んだ後、留学生さんたちと餃子や柏餅を作りました。「ふしぎ探険隊」は身の回りのふしぎを探検し調べ、探求の仕方を学ぶという企画で、ダチョウやニワトリ、ウズラの卵の密度を測定したりして、アクティブラーニングの仕方を学んだりしています。

センターでは、ピアサポーターとして

## グローバル・スタディーズ学科



**グローバル・スタディーズ学科3年 安齋 夏光**

私は中等英語の教職課程を履修しています。履修しようと思ったきっかけは、それが大学でしか取れない資格であること、そしてこれまでに素晴らしい先生方に恵まれてきたため、そのような人に近づけたらと思ったからです。教職課程を履修してから、新たに気付いたことがたくさんあるように感じます。小学校で行われていたちょっとしたことにも意味があったり、中学校における部活動にも実は深い意味があったりと、自分が今までしてきたことの確認・答え合わせをしているような気もしています。教職課程を履修していたからこそ気付けるもの、知ることができるといってくださいます。私はまだまだ学んでいきたいと思っています。



**健康栄養学科4年 石山 幸奈**

私は、去年の六月から今年の三月までに計十九回、学生サポートスタッフとして、仙台市立市名坂小学校の二年一組で、児童の授業サポートや休み時間の遊び相手などのボランティア活動を行いました。

二年一組の児童はみんな元気いっぱい、私が教室に行くといつもニコニコの笑顔で迎えてくれます。大学の授業や実習等で行けない日も多々ありましたが、毎週木曜日、子どもたちに会えるのが私の一週間の楽しみでした。

子どもたちにたくさんもらった元気パワーを原動力に、将来美味しい給食が作れるよう、これからも勉強に励んでいきます。

## 健康栄養学科



## 創立50周年記念式典について

仙台白百合女子大学は創立50周年記念式典を開催いたします。申込要領は下記記載のとおりです。(ただし、申込者が一定数をこえた場合、お断りする場合がございます)。

開催日時：2016年7月2日(土) 13:30  
開催場所：仙台白百合女子大学 講堂

### ●プログラム

13:30 オープニング  
13:40 理事長 挨拶  
13:50 学長 挨拶  
14:00 感謝ミサ  
15:00 記念講演「わが国における大学改革とカトリック大学の役割」  
(高祖敏明氏 上智学院理事長)

### ●申込方法

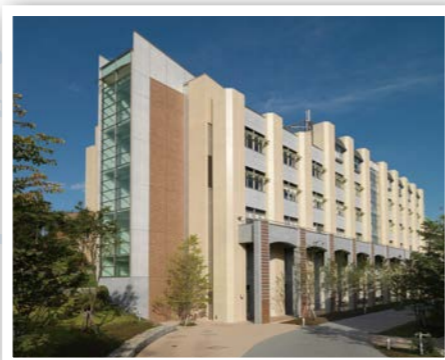
氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(またはE-mailアドレス)をご記入の上、はがき、FAX、E-mailで下記までお申込みください。なお同窓生の方は、回生(または卒業年度)をお知らせください。

### ●申込締切

2016年6月10日(金)

### ●申込窓口・お問い合わせ先

〒981-3107 仙台市泉区本町6-1 仙台白百合女子大学  
大学広報室電話：022-374-4475 E-mail：koho@sendai-shirayuri.ac.jp



## 寄付金募集のお知らせ

創立50周年にあたって、仙台白百合女子大学は、寄付金を募集いたしております。何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

金額：一口 1万円(一口以上)  
募集期間：2017年3月31日まで  
払込先：ゆうちょ銀行  
口座記号 02270-3  
口座番号 107886  
加入者名 学校法人 白百合学園

※振込用紙の通信欄に、「創立50周年記念事業」と明記の上、住所、氏名、および同窓生の方は、卒業学科・回生(または卒業年度)をご記入ください。

詳細につきましては、本学ホームページ(<http://sendai-shirayuri.ac.jp>)をご覧ください。

## 仙台白百合女子大学創立50周年記念事業について

仙台白百合女子大学が、前身の仙台白百合短期大学として現在の泉区本町町のキャンパスに設置されたのは1966年。家政科から出発した短期大学は、30周年にあたる1996年に仙台白百合女子大学を誕生させ、今日に至っています。

今年2016年に、仙台白百合女子大学は創立50周年を迎えました。仙台白百合女子大学は、昨年2015年から、創立50周年記念事業を展開しております。

## 創立50周年記念講演会

プレ企画として、Sr.渡辺和子氏を講師にお迎えし、創立50周年記念講演「現代の忘れもの」(2015年7月18日、於・本学講堂)を開催いたしました。



## 創立50周年記念企画『懸賞論文』

記念すべき2016年を迎えた1月より、創立50周年記念企画『懸賞論文』の募集を開始いたしました。応募資格は本学学生(大学生部門)および全国の白百合学園姉妹校の高校生(高校生部門)です。

### ●論文のテーマ

下記のテーマからどちらかを選び、そのテーマに沿った論文タイトルを明記し、自分の興味ある観点から論じてください。なお、「カトリック女子大学」としての独自性について、大学生・高校生の立場から論理的で説得力のある議論を心がけてください。

テーマ1 「現代社会におけるカトリック教育の使命について」

テーマ2 「女子大学として期待される社会貢献について」

### ●審査員・審査結果

審査は、仙台白百合女子大学学長ならびに学長が推薦する数名の審査員で行います。審査結果は、2016年7月2日(土)の創立50周年記念式典にあわせて本学HPに掲載するとともに本人宛に通知します。

### ●応募期限(募集期間)

2016年5月10日(火) 必着

### ●受賞・表彰

大学生部門

○最優秀賞 1名(副賞5万円)

○優秀賞 数名(副賞2万円)

高校生部門

○最優秀賞 1名(副賞5万円)

○優秀賞 数名(副賞2万円)

いずれも詳細は仙台白百合女子大学ホームページ「創立50周年記念企画『懸賞論文募集要項』」をご覧ください。

## 留学生紹介

仙台白百合女子大学の海外留学提携校は、2016年4月現在、8カ国16大学です。これまでに75名の学生を留学提携校に送り出し、24名の交換留学生を受入れてきました。2016年4月現在、15名の本学学生が海外提携校に留学中です。ここでは、昨年9月から本学で学んでいる4名の留学生について紹介させていただきます。

王蘭と申します。私は山西大学商學院からの留学生です。暇な時はいつも、日本のアニメを見ています。アニメに出てくる登場人物が大好きです。私は明るい性格で、友達がたくさんできることを望んでいます。好きな食べ物は、とくに、辛い物とか、フルーツとか。日本の酸辣湯麺が一番美味しいと思います。今、日本に来て半年たちましたが、この間、仙台白百合女子大学の先生や学生たちのおかげで、日本の文化をよく理解することができました。みんな優しい人たちばかりだと思います。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。



中国  
山西大学商學院  
オウラン  
王蘭



台湾  
開南大学  
チョウエイジ  
趙映慈

趙映慈と申します。台湾からやってきました。台湾では桃園市にある開南大学の学生です。私の趣味は旅行と歌を歌うことです。カラオケだけではなく何でも歌えます。日本の文化が大好きで、子供の頃から、ちびまる子ちゃんやポケモンとかのアニメが大好きで、いまでもいろいろなテレビ番組で時々見えています。

仙台に来てから、私はずっと楽しんでます。国際交流センターの鈴木さんを始め、先生達はみな優しく熱心な方ばかりです。まだまだ日本語がうまく使えなくてわからないことがたくさんありますが頑張ります。あとは日本の友達をたくさん作りたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

私は中国山西省山西大学商學院から参りました趙婧と申します。留学生として仙台白百合女子大学に留学でき、とても光栄です。私はいつも友達と一緒に美味しい物を食べて、カラオケに行くことが好きです。辛い物が好きですが、しゃぶしゃぶが一番好きで、仙台に来てからは酸辣湯麺をよく食べてます。最初、仙台に来た時、慣れていないこともあり不安でしたが、半年が経ち、ここの生活にも慣れてきました。仙台はきれいで、静かな都市です。独特な歴史と文化がある都市です。あと半年ありますので、残りの6ヶ月を楽しみたいと思ってます。



中国  
山西大学商學院  
チョウセイ  
趙婧



中国  
山西大学  
チンエキシン  
陳亦欣

私は陳亦欣と申します。中国山西大学から参りました。日本に来てから6ヶ月が過ぎましたが、この半年でいろいろな友達を作りました。中国の友達も日本の友達もみな親切で、彼女らのおかげで、私の留学生活は楽しくなりました。学校の所在地仙台の環境もとても素晴らしく、もし良かったらここでずっと暮らしたいと思ってます。私はもともと日本の文化や生活にとっても興味を持っていました。仙台に来て、いろんなことを体験し、いろんなものを食べ、とても満足しています。九月の稲刈りの時期に私は農家の生活を体験しました。

私は外国人のため、言葉の区別や使い方をよく間違えます。でも、私は「気持ちいい」と「気分いい」の違いを最近良く分かりました。もうすぐ一年になりますが、いつもお世話をして下さる先生方や職員の方々に感謝しております。

## 「今」の科学を授業に

人間発達学科准教授 沼澤 清一

小学校の授業は、教科書をもとに行われます。教科書は、おおむね十年間で新しくなる学習指導要領をもとに作成されます。十年経過したもの、つまり、過去の科学の素晴らしさから学ぶこととなります。この情報化社会の中で、です。

教科書に詳しく書かれていないことを扱うのは、学校現場では、学習指導要領の縛り、教師の忙しさから教材開発にかける時間不足など、難しいのが現実です。

燃料電池車にひかれて受けたリバネスの教育応援助成金HONDA賞が採択され、水の電気分解装置・燃料電池車と開発予算を得ることができました。小学校を中心とした新たな教育プログラムの開発を行うことになりました。燃料電池車をどのように授業の中に活用していくか。先行実践がほとんどないため、無から始まりました。

まず、水の電気分解の装置を使って水素を取り出すことを何度も行いました。装置の改良点を指摘した後、最終的には、水酸化ナトリウムの危険性と効率の悪さから、(高価な装置を頂きながら)この装置を使わないという方向に決めました。

水素は、実験用気体ボンベから取り入れ、燃料電池車を動かすことにしました。動くとしても楽しいものですが、スタックの状態によって動かなかつたり、水素を送る注射器との接続が良くなくて動かなかつたりと試行錯誤の繰り返しでした。

十二月六日サイエンスキャッスルでホンダブースの隣で中間発表を行いました。三月七日に仙台白百合学園小学校で総合



の授業を行いました。まず、袋の中に入った水素を、手で持つてもらいました。大気中には存在しない水素、教科書では扱わない水素ですが、六年生の児童から「水素」の言葉が出てきました。水素の簡単な説明後、燃料電池車に水素を入れて動かす時間を取りました。歓声の中、二十分間、六台の燃料電池車が動きまわりました。その後、化石燃料の限られた量とそれによる地球温暖化、発電の仕組みなどについて触れ、エネゴリ君の話題を交えながら燃料電池車のすばらしさを伝えました。売場近のホンダ自動車からの燃料電池車の仕組み・値段など、今現在起こっている科学の進行は児童の関心を引きつけます。

この授業は、パワーポイントを活用して行いました。準備物の説明だけでなく、発問・指示など発表者ビューに全て入れ、燃料電池車と付属品、そして水素があれば、誰でもどこでも燃料電池車の授業ができるようになっていきます。

再生可能エネルギーの最終形と言われる水素と酸素による燃料電池での発電が、今の世の中を現在進行形で変えています。科学の楽しさは、この変わっていく瞬間の実感だと思います。

## 宇野忍先生最終講義

心理福祉学科教授 渡邊 兼行

去る二月十二日十三時から五号館五三二教室にて、心理福祉学科 宇野忍先生の最終講義が行われました。宇野先生は、二〇〇九年に東北大学から本学に着任され、それから七年の間、教育心理学を中心に本学にて教鞭をとられました。最初は人間発達学科に所属し、その後の学科再編で心理福祉学科に移ってからは、心理福祉学科長として学科の運営に力を尽くされました。また、人間発達研究センター長、学修支援センター長も務められ、とくに学修支援センターにおいてはその立ち上げに尽力され、さまざまな企画を考案して学生たちの学びを導いてくださっています。

さて、講義には多くの方が聴きにいらっしやいました。学生や卒業生の姿も目立ち、宇野先生がいかに学生たちから慕われていたかがうかがえました。講義の内容は「私の研究遍歴」仙台白百合女子大学で培ったもの」と題して、先生のこれまでの研究の変遷を三期に分けてお話しいただくものです。盛りだくさんの内容のあまり最後は時間が押ししてしまったものの、具体的な研究事例やエピソードも交えながら、わかりやすく面白い講義を展開していただきました。そして何よりも、先生の教育に対する「思い」が端々に感じられた、とてもすてきな講義でした。

講義終了後に催された茶話会では、学生・教職員合わせて多くの方々が参加し、宇野先生を囲んで思い出話に花を咲かせたり、宇野先生との記念写真の撮影会が始まりました。和やかな会となりました。これも宇



野先生のお人柄を反映してのことでしょう。好奇心旺盛な宇野先生のことですから、これからも身の回りのいろいろな不思議を見つけては、観察したり実験したりしながら、毎日をごさされることと思います。お身体には気をつけて、さらに充実した日々を送られることを願っております。

## 白百合グッズ紹介



仙台白百合女子大学では、身近な文具や生活用品などオリジナルグッズを企画してきました。オリジナルスイーツブランド「マ・スール ママン」を立ち上げ、メゾンカイザー仙台様とのコラボレーションにより、おいしくて安心して食べられるサブレとマドレーヌを作りました。売店アマカ・ピアでは、一個から予約にてお土産用におしゃれなギフトボックスも購入できます。皆様是非ご賞味ください。注文から納品まで2週間いただいております。

みやぎインターカレッジcoop仙台白百合女子大学店にてお取り扱いいたしております。



オリジナルバッグ      ふせん      ポストカード      蛍光ペン      シャープペン      ハンドタオル

## インカレ通信

### 東日本大震災の経験と教訓を未来に活かすために

- 東日本大震災から5年目。みやぎインカレは以下の3つを重点的に取り組んでまいりました。
- ①東北地区の大学生協と共に「未来の大学生応援募金」に取り組み、この2年間において、震災で被災した岩手県、宮城県、福島県内の高校43校に、1000万円を超える義援金（活用方法は大学のオープンキャンパス参加や部活の遠征補助など各高校の裁量）を贈ってきました。みやぎインカレも仙台白百合女子大学を始め5キャンパスで、組合員に「募金カレー」などの方法で毎月募金を呼びかけ、昨年は12万円を超える金額を集めることができました。
  - ②東北地区の大学生協と協力して、毎年、被災地訪問（6月は福島、10月は岩手、11月は宮城）を実施し、組合員の参加を呼び掛けてきました。また、全国の大学生協と共に被災地へのボランティア（主に農業支援・学習支援）を呼びかけ、仙台白百合女子大学からも複数の参加がありました。
  - ③みやぎインカレは1高専、3大学と災害発生時における相互協力協定を締結してまいりました。この協定の主な目的は災害発生時に食料品や飲料水を提供することですが、同時に、校内で開催される避難訓練などに生協職員が参加するといった取り組みも行っており、今後も積極的に取り組んでまいりたいと思います。（大学生協みやぎインカレ専務 青柳範明）



## 人事 *personnel changes*

<b>新任</b>	<b>就任（新任・再任）</b>	<b>退職</b>
心理福祉学科 特任教授                      鈴木 敏明	学部長                      横石多希子 人間発達学科長              山口 榮一 心理福祉学科長              白川 充 図書館長                      小嶋 文博 教務部長                      渡邊 兼行 学生部長                      大本 泉 入試広報部長                佐々木裕子 カトリック研究所長        加藤 美紀 学修支援センター長        高橋 早苗 人間発達研究センター長    森本 幸子	心理福祉学科 教授      宇野 忍 図書館                      宮野真理子  (2016年4月1日嘱託採用)
グローバル・スタディーズ学科 特任講師 メアリー・アン・パスクアル	情報システム管理室長      大久保 剛	学生数      1,045名 教員数      57名 職員数      46名 (2016年4月1日現在)
健康栄養学科 助手                              福原 千恵		
<b>昇格</b>		
心理福祉学科 教授                              渡邊 兼行		
健康栄養学科 教授                              神田あづさ		
健康栄養学科 教授                              佐々木裕子		
人間発達学科 准教授                            妹尾 知昭		

## 大学広報学生スタッフ募集

大学広報室では、大学の広報活動に協力していただける学生を募集しています。

- 主な活動■**
- 大学広報イベント（泉マルシェなど）のスタッフ、クリスマスコンサート・白百合祭でのサポート、本学HPや「リス・プラン」用の写真のモデル、及び、NHK仙台放送局「SJD取材部☆」の活動などがあります。
  - NHK仙台放送局「SJD取材部☆」の活動では、NHK放送局と協力し、番組やイベントを取材し、NHKの広報誌やHPで報告を行います。活動は月2回程度です。
  - 興味のある方は、1号館3階の大学広報室までぜひお越しください。



## 第51回白百合祭

白百合祭実行委員会 実行委員長  
健康栄養学科 3年 高久 和美



今年も、学内最大行事とも言える白百合祭を10月22日・23日の二日間にわたり開催いたします。私自身、50周年という節目の年に実行委員長として白百合祭に関わることができることを嬉しく思うと同時にプレッシャーも感じております。至らないこともあるとは思いますが、実行委員をはじめとした学校全体の力をお借りし素晴らしい白百合祭を作り上げていきたいと考えています。ぜひ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。そして、より多くの皆様に足を運んでいただき私たちの大学・仙台白百合女子大学の活気あふれる魅力を少しでも発信していきたいです。自分たちの手で白百合らしい学祭を作り上げていきましょう。多くの方のご参加お待ちしております。



## 異文化体験

グローバル・スタディーズ学科 2年 日野 由佳梨

今回の異文化体験は2月18日から5日間の日程で香港に行きました。多くの学生が香港・マカオについてよく知らない状態でした。今回の各所訪問で私に関心をもった中の2つを紹介いたします。



香港は、日本と隣国でありながら日本人が知らないことが沢山あると実感しました。香港歴史博物館では、現在までの発展の流れが数々の展示品で表現されており、大変圧倒されました。

また、マカオは、元々ポルトガルの植民地であったことから街並みがヨーロッパ風でとても綺麗でした。聖ポール天主堂跡は彫刻も素晴らしく、一部に漢字が使われているというとても珍しい遺跡です。

今回の旅をとおして私は、他国の時代背景を理解しつつ、日本との関係性を知ることの大切さを学びました。

## 紫山だより

みやぎ鎮魂の日～祈りから希望へ～

あの震災から今年で5年が経過しました。宮城県では、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」として制定しておりますが、本学園では、幼稚園から高校までの園児・児童・生徒がレジナパースホールに集い、『仙台白百合学園「みやぎ鎮魂の日～祈りから希望へ～』として祈りの集いを行いました。この行事は今年で3回目になりますが、園児の歌から始まり、小学生の合唱、あの日の記憶の朗読、共同祈願、高校生のボランティア活動の紹介と続き、全員合唱で幕を閉じました。このように、幼稚園から高校までの生徒が同じ場所でこのような行事に参加するのは、全国的に見ても珍しいことだと思います。

また、午後からロザリオの MARIA 聖堂で「鎮魂・復興を願う祈りのつどい」が行われ、たくさんの方々に参加して祈りを捧げました。（仙台白百合学園 山田定道）



# オープンキャンパス

仙台白百合女子大学では、2016年度のオープンキャンパスを次の日程で開催いたします。

当日は模擬授業、各学科紹介・展示、学食体験、キャンパスツアー等を企画し、高校生に一早く仙台白百合女子大学を体験していただける内容となっております。この機会にぜひご参加ください。



学食体験



模擬授業



キャンパスツアー

## ◆ オープンキャンパス日程 ◆

- 第1回 4月23日(土)
  - 第2回 6月25日(土)
  - 第3回 7月23日(土)・24日(日)
  - 第4回 10月15日(土)
  - 第5回 11月26日(土)
- いずれも10:00～14:00

オープンキャンパス当日は送迎スクールバスを運行します。  
 地下鉄八乙女駅北③出口 9:30 (本学行き)  
 本学体育館前 14:10 (八乙女駅行き)

### 【問い合わせ先】

仙台白百合女子大学入試広報課 〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号  
 TEL 022-374-5014 FAX 022-374-5019 E-mail nyushi@sendai-shirayuri.ac.jp

## 2016 (平成28) 年度 公開講座の予定

6月	4日(土)	●中村 俊哉「保育現場で今すぐできるあそび講座①～自然あそび～」 14:30～16:00
	11日(土)	●仁藤喜久子「保育現場で今すぐできるあそび講座②～運動あそび～」 14:30～16:00
	25日(土)	●岩淵 摂子「保育現場で今すぐできるあそび講座③～音楽あそび～」 14:30～16:00
7月	9日(土)	◇神田あづさ「からだにも心にも栄養は必要です」 10:30～12:00
	16日(土)	●菅原詩緒理「女性の健康」 13:30～15:00
	30日(土)	●妹尾 知昭「文字で遊ぼう!何を作ろう?」 13:30～15:00
9月	17日(土)	◆神田あづさ「体の脂肪を減らそう①」 10:00～12:00 ◆鈴木 裕一「体の脂肪を減らそう②」 13:00～15:00
	18日(日)	◆高澤まき子「体の脂肪を減らそう③」 10:00～12:00 ◆山城 秋美「体の脂肪を減らそう④」 13:00～15:00
	24日(土)	■仙台白百合女子大学 第29回公開講座 13:30～15:30 講師:島蘭 進氏 「現代人の死生観とスピリチュアリティ」 会場:仙台白百合女子大学 講堂
	12月	3日(土) ◇宮下ひろみ「食物アレルギーをもつ子のお弁当」 13:00～14:30
1月	21日(土)	●加藤 美紀「生きる意味と魂～フランクルの思想から～①」 13:30～15:00
	28日(土)	●加藤 美紀「生きる意味と魂～フランクルの思想から～②」 13:30～15:00

◇学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス講座 (会場:仙台市市民活動サポートセンター)  
 ●オンキャンパス社会人講座 (会場:仙台白百合女子大学)  
 ◆みやぎ県民大学講座 (会場:仙台白百合女子大学)

お問合せ・申込みは、大学広報室まで  
 E-mail: koho@sendai-shirayuri.ac.jp  
 Tel:022-374-4475 (直通) Fax:022-374-5082

### ●ご協力ありがとうございました●

#### 仙台白百合学園

〒981-3205 仙台市泉区紫山1丁目2番1号  
 TEL: 022-777-5777

URL <http://www.sendaishirayuri.net/>  
 パンフレットをご希望の方はお気軽にご連絡下さい

#### みやぎインターカレッジユープ

#### 仙台白百合女子大店

TEL: 022-771-2391

## 編集後記

■本学において学報「リス・ブラン」としてスタートしてから、今回で第70回目の発行を数えることになりました。同時に、この泉・松森の地において、仙台白百合女子大学(当初は短期大学)が開学して以来、今年で50年の節目を迎えることとなりました。今号では、巻頭に、創立者のお一人でもある和田美稚子先生より寄稿を賜り、また、創立50周年に関連した記念行事についても御案内させて頂くことにいたしました。歴史も記録も、最初の一步があつてこそ始まるものです。パイオニア(pioneer「元は歩兵の意」)の精神から出発した先人たちの偉業に敬意を払いつつ、スタッフ一同、今後とも本誌編集に尚一層力を注いでいきたいと思っております。(砂澤健治)

Thanks!